



助成額 1団体5万円以内



しゃきょう

2022年5月号199号

社協だより

●発行 社会福祉法人三宅島社会福祉協議会 〒100-1211 三宅島三宅村坪田 3053 電話 04994-8-5888



5月5日～5月11日までは児童福祉週間です！

「児童福祉週間」とは、次世代を担う子ども達が健やかに生まれ育つために必要な環境づくりを、どのようにしたら良いのか？と私たち一人ひとりが考える大切な運動です。

子ども達やその家庭を取り巻く環境は、大きく変化しました。少子化の進行、児童虐待の増加、ヤングケアラー問題、インターネットやSNSの普及による影響など様々な課題が挙げられます。子どもが心身ともに健やかに生まれ育ち、家庭や地域で心豊かに、安心・安全で、安定した生活を送る事ができる環境づくりを推進していく事は、極めて重要な課題となっています。

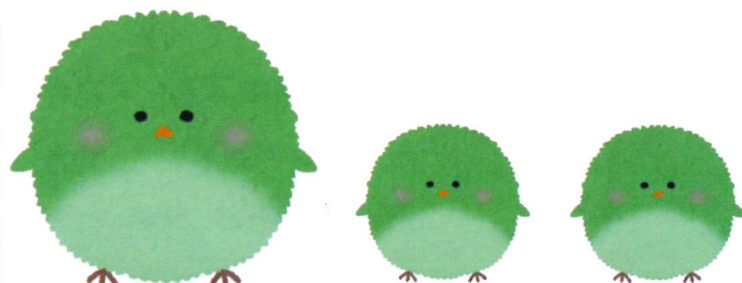
今年度の児童福祉週間の標語は「見つけたよ 広がる未来とつかむ夢」です。子ども達にとって明るく希望のある地域を作り、夢に向かって努力できる環境を整えるため、この島でも児童福祉の理念を共有できる期間にしたいと考えています。家庭における親子のふれあい促進、地域における健全育成活動の促進、児童虐待への適切な対応、母と子の健康づくりの促進、多様化する保育需要等への対応、障がいのある子ども等に対する理解の促進など、社会全体で取り組んでいく事でより良い街づくりができるのではないのでしょうか。

まずは地域が関わりを持ち、子ども達も、そしてその家族たちも孤立させないことが大切です。そっと寄り添うことで島の未来を担う子ども達を地域全体で支えていける街づくりを目指まいります。

令和4年度 助成金の申込みについて

三宅島社会福祉協議会では、島内でボランティア活動やスポーツ活動、文化活動などを行っている団体に対して、その活動費を助成します。申請希望の団体は、社協【TEL 8-5888（担当：早川）】までご連絡ください。申請を受け付け後、審査を行い決定となります。本年度より申請方式、書式が変更となりましたのでご注意ください。

- 助成額： 1団体5万円以内
- 募集数： 8団体（総額40万）予定
- 申請期間：5月31日（火）締切



この度4月1日付で事務局長に就任しました早川信（はやかわ まこと）です。島の福祉の担い手としてその重責に身の引き締まる思いです。

社会福祉協議会は、地域の皆さんが住み慣れた街で安心安全に暮らしていくためのお手伝いをする組織です。地域の課題や家庭での困り事、大小さまざまな課題を地域の皆さんと共に解決し、より良い街づくりをするのが役割です。地域住民の暮らしに直結する部分での関りが多い社会福祉協議会の仕事に責任感をもって取り組んでいきたいと思っています。

三宅島社会福祉協議会も50年を超える歴史があり、高齢者や障がいをお持ちの方を中心に地域での暮らしを支援してまいりました。地域の応援団として小さな困り事の解決はもちろん、関係機関と連携し村全体の福祉課題解決に取り組むなど、住民の皆さんが安心して暮らせる「街づくり」を行っています。この「街づくり」に関わりたいという思いから、全島避難中の三宅島社会福祉協議会に入職して17年が経ちました。入職当初は帰島支援に努める毎日となりましたが、多くの方に支えられながら業務にあたってまいりました。島民の方々をはじめ、様々な組織の方と協力し、帰島支援に取り組めたことは、その後の仕事に活かすことが出来たのではないかと思います。

これまで通り、高齢者福祉や障がい者福祉はもちろん、島の宝と言われる子どもたちに対する児童福祉にも力を入れていきたいと思っています。

コロナ禍で、その活動にも制限がある状況ですが、地域の皆さんをはじめ、関係機関と連携し、住民の皆さんが充実したより良い生活を過ごせるよう努力してまいりますのでご協力宜しくお願いいたします。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！

三宅島社会福祉協議会では、三宅小学校・三宅中学校の新入生の皆さんに両校の校長先生へ三宅島社会福祉協議会会長より入学祝に文房具を贈呈させていただきました。新入生の皆さんのご活躍を心よりお祈りいたします！



三宅中学校：小澤校長先生へ



三宅小学校：池田校長先生へ

寄付金のお知らせ

下記の方から三宅島社会福祉協議会へご寄付頂きましたのでご報告いたします。
 浅沼美佐子さまより 亡夫 惇さまの香料より 組織運営事業のために
 北川高次さまより 亡母 キクさまの香料より 訪問介護事業のために
 山下清美さまより 亡父 前田幸雄さまの香料より 組織運営事業のために
 福祉振興のため、大切に使用させていただきます。ご厚志誠にありがとうございます。



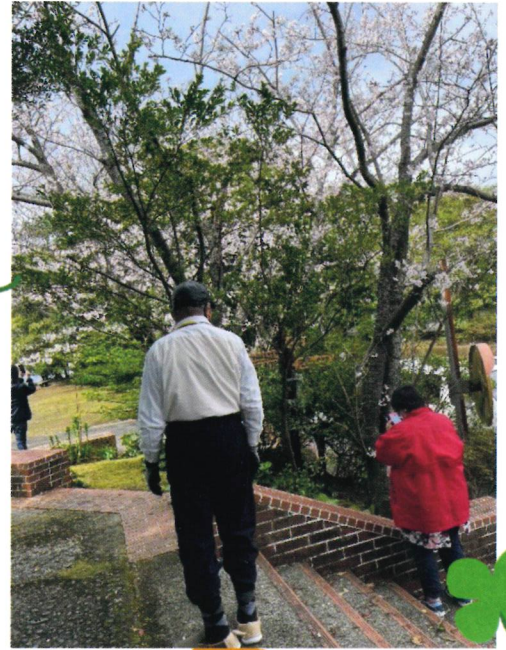
開所日時:月・水・木(10:00~15:00)

三宅村地域活動支援センター「いぶき」は障がいのある方の働く作業場と楽しく過ごせる場所です!

5月のいぶき活動

緑化活動 2・9・16・23・30日(毎月曜日)

外出支援 19日(木曜日)



4月には桜が満開に咲いて、「桜を見たい!」とのご希望もあり、ドライブをしながら見に行きました。みなさんと楽しそうに過ごされていました。暖かい日も増えて外での作業が捗る季節になり、これから花植えや野菜作りなど積極的に緑化作業に取り組みたいと皆さんとお話ししています。

ちけん通信

Vol.37「ちけん」は金銭管理以外はなにもしてくれない?

Q.

「ちけん」は金銭管理以外のことはなにもしてくれないのでしょうか?

そうだ!

社協の地権に

相談して

みよう!



ご相談ありがとうございます!「ちけん」では家計簿作りや収支の見直しといった金銭管理サポートのほかにも、日々のお困りごとのご相談受付、自治体や公共機関から届くお手紙の確認、手続きのサポートなどを行っております。「ちけん」の範囲内でないご相談でも、お話を聞かせていただけたら何かできることがあるかもしれませんので、お気軽にご相談ください!いただいたご相談につきましては守秘義務厳守のもと、ご相談いただいた方のご希望に沿った形で対応いたしますので、お電話やメール、三宅島社協窓口などお気軽にご連絡ください!



「地権(ちけん)」では、判断能力に心配がある方を対象として、福祉サービスの利用に関する相談に応じ、助言や情報提供を行う事で本人による選択や契約を支援する事業です。

上記のような心配ごとや不安ごとがございましたら三宅島社協地権担当:柳川(やながわ)【直通 8-5883】まで!

令和 4 年度 三宅島社会福祉協議会事業方針

令和 4 年度の三宅島社会福祉協議会の事業については、昨年同様新型コロナウイルス感染症の蔓延により福祉事業の実施が未確定の部分がございます。国立感染症研究所は「オミクロン株の感染者数は前週を下回る傾向にある」としながらも重症者数は高止まり、10 代の感染症数と介護施設での高齢者の感染が顕著である報告しています。（※1）医療機関は救急医療に対して依然大きな負荷がかかっており、収束は見通せず、今後についてはワクチンの接種を急ぐことと、対象年齢の拡大、基本的感染予防策の徹底を求めており、まだまだ出口は程遠いようです。それでも疲弊する経済界からは、かなり強引な出口戦略も提出されていますが、ポイントはなんといっても治療薬の開発・承認となることでしょう。しかし、いかに治療薬が開発され日常が取り戻せたとしても、今回のコロナからは多くのことを検証し、学び、次へと生かさねばなりません。福祉の現場では多くの混乱が生じました。同時に感染者のケアにおいて訪問介護のヘルパーの存在が大変重要なものであるとクローズアップされました。

福祉（社会）資源の少ない地域、離島におけるヘルパーの存在は日常生活の支援からターミナルまで広範囲に及び、島で暮らすには欠かせない存在です。しかし、そのヘルパーが全国的に、圧倒的に、不足しています。厚生労働省は昨年報告で「高齢者数がほぼピークとなる 2040 年に約 70 万人の介護職員が不足する」とショッキングな推計を出しました。（※2）介護人材はすでに不足しています。

三宅村高齢者保険計画及び介護保険計画（※3）では高齢者人口は平成 30 年から減少傾向に、介護保険の対象となる認定者数は令和 4 年度をピークに緩やかに減少します。同時に母数となる人口も減少するので、介護人材不足はますます厳しくなっています。すでに三宅村では 1.29 人の生産年齢数が高齢者を支えている状況（東京都は 2.92 人）です。地域福祉の担い手である社会福祉協議会としては、島の福祉全体を考える上で、人材を育て、福祉を支えていかなければなりません。

令和 4 年度は引き続き介護職員の処遇改善に努めてまいります。また、地域の幅広い層へ社会福祉協議会の活動を知ってもらう啓発活動を学校と連携して行うことで、将来の介護・福祉人材の掘り起こしをします。また、三宅村自立支援協議会に参画し、関係機関と協同しながら三宅村の実情に応じた障がい者への支援体制づくりを目指します。一日も早いコロナの収束を祈り、島の暮らしが戻るよう体制を準備していきます。

（※1）令和 4 年 3 月 2 日発表 国立感染症研究所ホームページより

（※2）「第 8 期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数について」厚生労働省令和 3 年 7 月 8 日

（※3）第 8 期計画答申（令和 3 年から 5 年）

令和 4 年度 三宅島社会福祉協議会予算

令和 4 年度の当初予算収支内訳は以下のとおりです。詳細な予算収支につきましては社協事務所に確認いただけます。

◆収入

◆支出

寄付金収入	970	地域福祉推進事業	51,377
補助金収入	27,663		
受託金収入	14,975		
事業収入	2,200	介護保険事業	20,834
介護保険事業収入	18,774		
障がい者福祉サービス等事業収入	8,064		
その他の収入	142	たすけあい資金事業	100
◆収入合計	72,788	◆支出合計	72,311